

アンサスの授業で使っている教材【4年生用教材やコンプリート問題集】を使った体験授業と、例年、体験授業で行っている**数理パズル**を用意しました。

いずれも参加学年を指定せずに行います。(何年生でも参加できます。付き添いの方の参加も歓迎します)

下記の日程で、各内容を1~2回ずつ行いますので、参加したいだけ自由にいくつでも選んで下さい。

参加した後の追加申し込みも出来ますので、参加してみようという授業が決まったら、どしどし応募して下さい。参加教室も、自由に選んでもらって大丈夫です。(両方の教室で体験しても構いません)

それぞれ、おおよその**難易度表示**と、**必要になる計算の例**を示してありますので、参考にさせていただきます。

易しい ↑

A 魔方陣

有名な**数理パズル**ですが、色々な着眼点があります。魔方陣がどういつつくりになっているのかの紹介と同時に、工夫した計算も紹介したいと思います。
4年生用の教材にチャレンジ問題として載っている問題を使います。
 ※2ケタの足し算程度の計算が必要になります。

B 約数・公約数

コンプリート問題集(ANSASの開発した5~6年生用のオリジナル教材です)から、約数や公約数に関するページをピックアップして紹介します。学校では習えない簡単な求め方を覚えて帰れば、ほぼ無敵です。
 ※自力で解くには、 $60 \div 4$ 程度の割り算が必要です。

C 三山くずし

毎年、新4年生向けの体験授業で取り入れている**数理パズル**です。難しい算数問題も、実は当たり前のごとの積み重ねであることがわかると思います。参加すれば、大人顔負けの達人になれるかも。
 ※計算はほとんど出てきません。

D 鶴亀算

コンプリート問題集は、数論・文章題・図形の3分野に分類されています。鶴亀算は、中でも最も有名な文章題でしょう。限られた体験時間内で、最もシンプルな解き方が出来るようになることを目指します。
 ※ $1000 \div 40$ 程度の割り算が出てきます。

難しい ↓

E 2023を作れ

例年、新5年生向けの体験授業で紹介している**数理パズル**で、元々は算数オリンピックの予選問題としてANSASが作問した問題です。毎年、付き添いのお父さんお母さんにも挑戦して貰っていますが、いつも小学生のほうが早く答えを見つけます。
 ※ $568 + 821 + 634$ のような、3ケタの足し算が出来れば十分です。

開催日程

開催日	開催教室	13:30~14:15	14:30~15:15
1月22日(日)	宝永教室	A 魔方陣	C 三山くずし
1月29日(日)	万々教室	B 約数・公約数	C 三山くずし
2月12日(日)	宝永教室	B 約数・公約数	D 鶴亀算
2月23日(祝)	万々教室	A 魔方陣	E 2023を作れ